

平成21年（暦年）入込観光客「推計」調査の概要

（1）調査の目的

この調査は、本県の観光地に来遊する観光客を調査（推計）し、今後の観光行政施策等に役立てることを目的とする。

（2）調査方法

県内全市町村からの報告に基づいて集計した。

（3）調査の要領

ア 調査の範囲

県内全市町村（各市町村単位）

イ 調査の期間

平成21年1月1日から平成21年12月31日まで1年間

ウ 調査事項

（ア）観光客の目的別の入込客数

ハイキング及び登山、花見及び紅葉狩り、釣り、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学、遊園地、各種行事・まつり見学、スポーツ（観覧客、ゴルフ、テニスなど。）、産業観光（観光農業を含む。）、その他（ドライブ、ボート遊び、修学旅行など。）。

（イ）県内・県外別（日帰り・宿泊）の入込客数

（ウ）利用交通機関別の入込客数

（エ）消費金額

（4）調査結果

ア 観光客入込の動向

平成21年1月1日から平成21年12月31日までの入込客数は、1億1,420万人と推計され、前年の1億1,396万人と比べて、24万人増加し、率では0.2%の増加となった。

目的別では、各種行事まつり見学客が前年より99万人増加し、13年連続で1位となった。前年と同じく2位のスポーツ客は、62万人減少した。3位の産業観光客は前年より163万人増加し、順位は4位から3位となった。なお、前年と比較すると、遊園地客、花見客及び紅葉狩り客、ハイキング及び登山客、釣り客は増加となったが、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客、その他は減少となった。

イ 県内・県外別の状況

県内客 5,021 万人（構成比 43.1%）、県外客 1,617 万人（構成比 13.9%）、不明 4,782 万人（構成比 43.0%）であった。

ウ 日帰り・宿泊の状況

日帰り客 6,446 万人（構成比 56.4%）、宿泊客 192 万人（構成比 1.7%）、不明 4,782 万人（構成比 41.9%）であった。

エ 利用交通機関別の状況

利用交通機関別で入込順位をみると、自家用車が圧倒的に多く 4,180 万人、次いで鉄道 1,160 万人、その他 794 万人、バス 500 万人の順（不明 4,786 万人を除く。）であった。

オ 目的別の状況

目的別の入込状況をみると、各種行事まつり見学客 2,863 万人（構成比 25.0%）、スポーツ客 2,377 万人（構成比 20.8%）、産業観光客 1,516 万人（構成比 13.3%）、遊園地客 1,481 万人（構成比 13.0%）、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客 1,048 万人（構成比 9.2%）、花見客及び紅葉狩り客 729 万人（構成比 6.4%）、ハイキング及び登山客 301 人（構成比 2.6%）、釣り客 90 人（構成比 0.8%）、その他 1,015 万人（構成比 8.9%）となった。

カ 消費金額の状況

消費金額の総計は 1,069 億円（54 市町村）である。1 人当たりの消費金額は 1,381 円で、前年に比べ 51 円、3.8%の増となった。

キ 月別の状況

観光客数については、8 月、7 月、10 月、11 月の順に多い。また、消費金額については 10 月、5 月、8 月、11 月の順に多い。